

定本

# 浅間山

## 父なる山——その歴史と文化

### 世界的活火山浅間山

#### その全貌を初めて集成!

### 山麓全家庭 必備の書

- 大型豪華本 (A4判)
- 特製本・カバー巻き
- 写真・図版=約400点収録
- 総頁=240頁(予定)

予約特価: 9,975円 (本体9,500円) (2005年12月末日まで)

定価: 11,550円 (本体11,000円)

\*限定部数に達し次第、締切らせていただきます。

### 郷土出版社

長野県松本市芳川小屋594-45  
Tel:0263-86-8601 Fax:86-8605  
http://www.mcci.or.jp/www/kyodo  
kyodo@po.mcci.or.jp

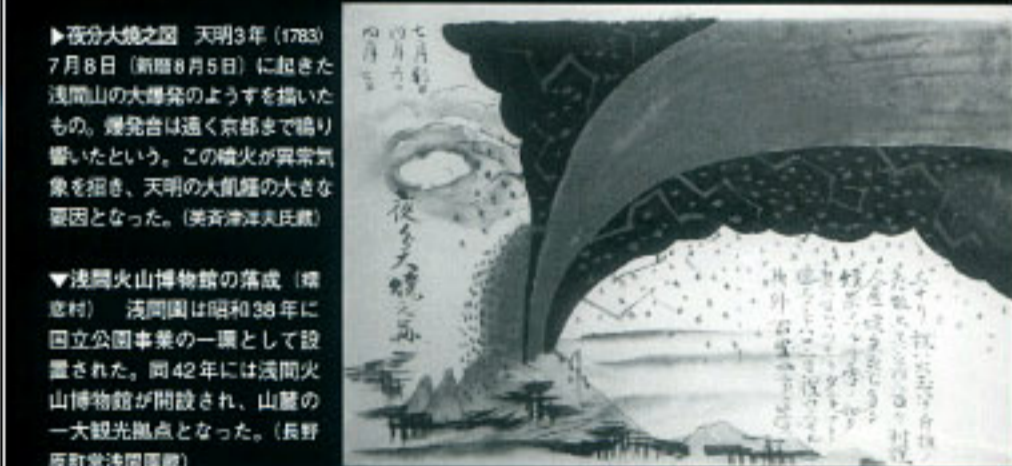


2005年12月上旬刊行  
限定2,000部  
ご予約受付中!

▲南軽井沢から見た浅間山(軽井沢町) 裾野の広いコニーデ火山の山容が美しい。外輪山の黒明山、寄生火山の小浅間山もよく見えている。



▲浅間山開き(小諸市) 浅間山は山麓の人びとから霊峰として崇められ、修験者の修行道場とされてきた。山開きでは白装束の行者が先達を務め、登山者の無事と火山の静穏を祈願する。(小諸市商工観光課提供)



▶夜分大焼之図 天明3年(1783)7月8日(新暦8月5日)に起きた浅間山の大火焼のようすを描いたもの。爆發音は遠く京都まで響り響いたという。この焼火が異常気象を招き、天明の大飢饉の大きな要因となった。(美奈津津夫氏蔵)



▼浅間火山博物館の落成(埴田村) 浅間山は昭和38年に国立公園事業の一環として設置された。同42年には浅間火山博物館が開館され、山麓の一大観光拠点となった。(長野県庁舎浅間園蔵)

## ★本書の3大特色

- 1 浅間山のすべてを1冊に!**  
本書は、浅間山にまつわる自然・歴史・民俗・文化・芸術などを多角的に紹介する、初めての本格的な浅間山の「定本」です。地域のシンボルとして親しまれる一方、噴火により地域の歴史や暮らしに大きくかかわってきたふたつの山、浅間山のすべてを1冊に紹介いたします。
- 2 興味深いトピックスを多数紹介! 豊富な電子資料の決定版!**  
本書には、未発表のものも含めた最新の浅間山に関するトピックスを多数収録しております。浅間山の生い立ちから、浅間山とのかかわりのなかで育まれてきた文化や産業、時代の移り変わりのなかで変遷を繰り返した地域の姿など、浅間山に関する民俗・歴史ロマンを満載。2000部限定の貴重な電子資料です。
- 3 写真・図版を多用した見やすい本! わかりやすく詳細な解説!**  
写真や図版、絵図、グラフなどを約400点掲載し、中学生から小学生の方まで、家族で楽しめる一冊に1冊の必履の書となっております。郷土を長年研究してきた執筆陣による詳細でわかりやすい解説は、お子さまのふるさと学習や自由研究の資料としても最適です。



▲見やすく楽しいレイアウト。写真・図版を大きく、多用しています。



▲旧継水峠の時町(軽井沢町・軽井沢町) 手前右の石柱には「上信国境」と刻まれている。国境を挟んで建つのは熊野神社。この峠道は鎌倉時代に開かれ、近世には中山道になっていた。



▲鎌原観音堂(埴田村) 天明3年の大火で発生した火砕流は、鎌原村を一瞬にして破壊させた。村内の死者が477人にのぼったが、この観音堂に逃げた93人は生き延びたという。

▲高原野菜作り(小諸市・朝代町) 浅間山南西の傾斜地ではレタスやキャベツなどの高原野菜の栽培が行なわれ、品質がよいと高い評価を得ている。



- ### ★本書の主な内容
- 総論 父なる山・浅間山
    - 1. 浅間山の歴史
      - ・地形・地質
      - ・浅間火山の形成史/二重式火山
      - ・気象・気候
      - ・風向きと降灰/溢分にあつた側
      - ・候所
      - ・浅間山の生物
      - ・溶石地形の森/植物相と動物相
      - ・浅間山を取り巻く水環境
      - ・河川・湖・池/暮らしと水環境
      - ・「アサマ」の名を冠した動物
      - ・「アサマ」の名を冠した植物
    - 2. 浅間火山の歴史
      - ・神の山・浅間=縄文時代から現代まで
      - ・石安以前の浅間山/七巻石伝説
      - ・浅間大焼け/鹿野野火の心算
      - ・中世までの噴火/天明三年浅間大焼けほか
      - ・保科五郎左衛門・浅間山
      - ・鎮西折衝から噴火予知へ
      - ・浅間神社の祈禱/火山観測所の設置
      - ・浅間山登山の歴史
      - ・浅間山へ登った人びと/登山装束の変遷/浅間山の主
      - ・浅間山を舞台にした事件
      - ・赤根陣事件/米軍演習地化反対闘争ほか
      - ・「アサマ」中山道浅間橋の三首(高橋友三)の天明噴火記
  - 山麓全家庭必備の書
    - 1. 浅間山をめぐるとして
      - ・古代・中世の文学/近世の文学/近・現代の文学
      - ・伝説と民話
      - ・道分節の生成/小諸馬場頭
      - ・日本武尊伝説/浅間山誕生伝説/あかり文兵衛/天狗の騒動
      - ・浅間山の文化施設
      - ・「アサマ」山麓に咲いた浅間山
    - 2. 浅間山と「アサマ」
      - ・火山灰地と「アサマ」産地の暮らし
      - ・国際的産地軽井沢/高原野菜/「アサマ」コルフ
      - ・千ヶ滝用水と新田開発
      - ・浅間火山群周辺の市町村
      - ・浅間山の温泉
      - ・長野温泉/塩田温泉/旧温泉
      - ・浅間山麓を巡る旧街道
      - ・東山道/中山道と国街道/大田道/横火道
      - ・浅間山麓をめぐるとして
      - ・草鞋道/小海線/信越本線
      - ・長野新幹線
      - ・「アサマ」の嫁入り/噴火時の思い出
      - ・「アサマ」の日常
      - ・「アサマ」の日常
  - 写真で見える浅間山麓の暮らしの歴史
    - 寄稿エッセイ



▲浅間山の噴火(佐久市) 昭和初期に撮影された佐久市中佐野小学校付近から見た浅間山の噴火の様子。昭和10年代には浅間山はよく噴火し、噴煙は数100メートルから1000メートルに達した。(神津伊三雄氏撮影・小林政氏蔵)



▲鬼押出し浅間園(埴田村) 鬼押出しは、天明3年の噴火の際、鎌原火砕流の直後に流れ出した溶岩流が冷え固まってできたもの。園内には研究路などが整備され、多くの人びとが訪れている。(長野県庁舎浅間園蔵)



▲巨峰ブドウの栽培(東御市) 浅間山麓から続く南面した傾斜地は日当たりと水はけがよく、ブドウの栽培に適しており、現在では全国有数の巨峰ブドウの特産地となっている。

### 注文書

お電話	ご住所	お名前
		T

定本 浅間山

郷土出版社

\*毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。